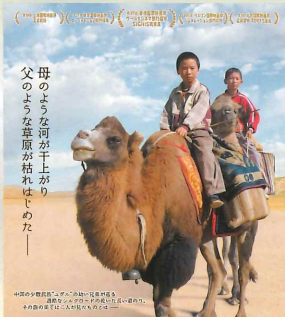




アートシネマ館 2022

2022/4/30(土)

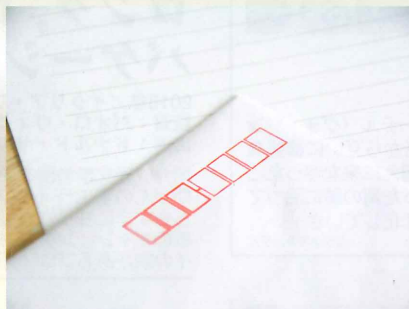


僕たちの家に帰ろう
river head

僕たちの家に帰ろう

©2014 LAUREL FILMS COMPANY LIMITED

2022/5/28(土)



手紙

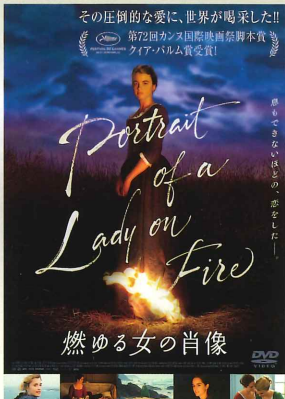
2022/6/18(土)



ゴールデン・リバー

©2018 - WHY NOT PRODUCTIONS

2022/7/30(土)



燃ゆる女の肖像

©2019 Lilies Films / Hold-Up Films & Productions
Arte France Cinéma

2022/8/27(土)



ぼくの好きな先生

2022/9/24(土)



ロング、ロング
バケーション

©2017 Indiana Production S.P.A.

2022/11/19(土)



ハニーボーイ

©2019 HONEY BOY, LLC. All Rights Reserved.

2022/12/17(土)



ムーミン谷とウィンター
ワンダーランド(吹替)

©Filmkompaniet / Animoon

2023/1/21(土)



わたしの叔父さん

©2019 88miles

2023/2/25(土)



海よりもまだ深く

©2016 フジテレビジョン パンダイビジュアル
AOI Pro. ギャガ

会場：北海道立釧路芸術館アートホール

※状況により内容を変更したり、中止させていただく場合があります。ご了承ください。

※当館駐車場(8台)が満車の場合は、釧路錦町駐車場をご利用ください。

受付に駐車券を提示していただくと割引が摘要になります(裏面地図をご覧ください)。



Kushiro Art Museum, Hokkaido



釧路芸術館

アートシネマ館 2022

【時間】 各日、午前10時～／午後2時～（2回上映）

【会場】 釧路芸術館アートホール

入場
無料

僕たちの家に帰ろう

2022.4/30

2015年／中国／カラー／103分
監督：リー・ルイジュン
出演：タン・ロン、グォ・ソントオ

紹介：遊牧生活を送る両親と離れて暮らすユグル族の兄弟バーテル（グォ・ソントオ）とアディカー（タン・ロン）は、両親に会えない寂しさから互いに複雑な気持ちを抱え反目し合っていた。そんな中、父親が夏休みに迎えに来なかったことから、二人はラクダに乗って両親を捜す旅に出る。干上がった河の跡に沿って荒野を進む旅は、いつしか自分たちのルーツをたどる旅へと変化していき……。

©シネマトゥデイ

ロング、ロング バケーション

2022.9/24

2018年／イタリア・フランス合作／カラー／112分
監督：パオロ・ヴィルズィ
出演：ドナルド・サザーランド、ヘレン・ミレン

紹介：元文学教師でアルツハイマー病のジョン（ドナルド・サザーランド）と末期がんの妻エラ（ヘレン・ミレン）の結婚生活は、半世紀を過ぎていた。子供たちもすでに独り立ちして家を出た今こそ二人きりの時間を楽しもうと、彼らは愛車のキャンピングカーで旅に出る。目的地は、ジョンが大好きな作家ヘミングウェイの家があるフロリダのキーウエストで……。

©シネマトゥデイ

手紙

2022.5/28

2006年／日本／カラー／121分
監督：生野慈朗
出演：山田孝之、玉山鉄二、沢尻エリカ

紹介：直貴（山田孝之）の兄（玉山鉄二）は、弟の学費欲しさに盗みに入った屋敷で誤って人を殺し服役中だった。大学進学もあきらめ、工場で働く直貴の夢は幼なじみの祐輔（尾上寛之）とお笑いプロになることだったが、毎月刑務所から届く兄の手紙が彼を現実を引き戻す。そんな彼を食堂で働く由美子（沢尻エリカ）が見ている……。

©シネマトゥデイ

ハニーボーイ

2022.11/19

2020年／アメリカ／カラー／95分
監督：アルマ・ハレル
出演：シャイア・ラブーフ、ノア・ジュブ

紹介：飲酒運転で事故を起こしたハリウッドの若きトップスター、オーティス（ルーカス・ヘッジス）は更生施設で治療中にPTSDの兆候を指摘される。原因を探るため今までの思い出を尋ねられた彼は、父のことを思い出す。10年前、子役として家計を支えていた12歳のオーティス（ノア・ジュブ）は、感情の不安定な父ジェームズ（シャイア・ラブーフ）に振り回される日々を苦しんでいた。そんな彼を心配する保護観察員や隣家に住む少女らとの交流を通じ、オーティスは少しずつ成長していく。

©シネマトゥデイ

ゴールデン・リバー

2022.6/18

2019年／アメリカ・フランス・ルーマニア・スペイン合作／カラー／120分
監督：ジャック・オーディアール
出演：ジョン・C・ライリー、ホアキン・フェニックス

紹介：ゴールドラッシュで沸き立っているアメリカ。普通でいたい兄のイーライ（ジョン・C・ライリー）と裏社会で成功したい弟のチャーリー（ホアキン・フェニックス）は、すぐ腕の殺し屋だった。二人は政府からの内密な依頼で、連絡係（ジェイク・ギレンホール）と共に黄金の見分け方を知る化学者（リス・アーメッド）を追う。やがて四人は、手を組むことになる。

©シネマトゥデイ

ムーミン谷と ウィンターワンダーランド（吹替）

2022.12/17

2017年／フィンランド・ポーランド合作／カラー／86分
監督：ヤクブ・ヴロンスキ、イーラ・カーペラン
声の出演：宮沢りえ、森川智之、朴 璐美

冬のアニメーション上映

紹介：木々の葉が舞い散る秋、探究心あふれるムーミンロールは、冬の気配を実感するため友人のスナフキンと一緒に外出する。そして彼らは、もうすぐやってくるという「クリスマス」の存在を知る。やがてムーミン谷に最高の夜が訪れる……。

©シネマトゥデイ

燃ゆる女の肖像

2022.7/30

2020年／フランス／カラー／122分
監督：セリーヌ・シアマ
出演：ノエミ・メルラン、アデル・エネル

紹介：18世紀のフランス・ブルターニュ地方。画家のマリアヌ（ノエミ・メルラン）は貴族の娘エロイズ（アデル・エネル）の見合いのため、彼女の肖像画を依頼される。しかし、エロイズは結婚することを頑なに拒んでいた。マリアヌは身分を伏せて孤島でエロイズと過ごし、ひそかに彼女の肖像画にとりかかるが、マリアヌの目的を知ったエロイズは絵を見てその出来栄を否定する。

©シネマトゥデイ

わたしの叔父さん

2023.1/21

2021年／デンマーク／カラー／110分
監督：フラレ・ピーダセン
出演：イエデ・スナゴー、ペーダ・ハンセン・テューセン

紹介：デンマーク、ユトランド半島の農村。27歳のクリスは幼少時に家族を亡くしてから、酪農を営む叔父と二人で暮らしていた。早朝に起床し、足の不自由な叔父の世話をしながら酪農の仕事をし、夕食後にコーヒーをたしなむ毎日をする中、ある出来事をきっかけに獣医になるという夢をかつて抱いていたことを思い出す。さらに教会で出会った青年マイクから好意を寄せられるなど、クリスは人生の変化に戸惑っていた。めいの子に気付いた叔父は、彼女が幸せになれるようにそっと手助けをする。

©シネマトゥデイ

ぼくの好きな先生

2022.8/27

2019年／日本／カラー／85分・ドキュメンタリー
監督：前田 哲
出演：瀬島 匠

紹介：東北芸術工科大学で学生を指導しながら、日本全国で創作活動続ける画家、瀬島匠。30年の間「RUNNER」という同じタイトルの絵を描き続け、睡眠時間は極端に短く、エネルギーに人生を謳歌（おうか）している。しかし、瀬島は故郷の広島県尾道市因島でのある宿命を背負っていた。

©シネマトゥデイ

海よりもまだ深く

2023.2/25

2016年／日本／カラー／117分
監督：是枝裕和
出演：阿部 寛、真木よう子、樹木希林

紹介：15年前に1度だけ文学賞を受賞したことのある良多（阿部寛）は、「小説のための取材」と理由を付けて探偵事務所働いている。良多は離婚した元妻の響子（真木よう子）への思いを捨てきれず、響子に新しく恋人ができたことにぼろぼろと泣いていた。良多、響子、息子の真悟（吉澤太陽）は、良多の母・淑子（樹木希林）の家に偶然集まったある日、台風の一夜を皆で過ごすことになり……。

©シネマトゥデイ

《展覧会のご案内》

4/23(土)～6/19(日)	日本の洋画 130年 具象表現の栄光
4/23(土)～6/19(日)	新収蔵展示 木島誠悟の絵本原画・毛綱毅曠の設計図
7/9(土)～9/4(日)	ヨーロッパ版画の花束 北海道立近代美術館 友田コレクションを中心に いぎもの王国
7/9(土)～9/4(日)	岩合徳光・動物記
9/17(土)～11/23(水・祝)	祈りの造形(かたち) 地域の記憶 厚岸・国泰寺の200年
11/9(水)～11/23(水・祝)	毛綱毅曠ミニ展示 2022 「北国の憂鬱」の世界
12/17(土)～2023/4/9(日)	アートに耳をかたむけて 絵画と彫刻から聞こえる「音」
12/17(土)～2023/4/9(日)	追悼 彫刻家・中江紀洋

交通のご案内 Access

- JR釧路駅から、徒歩で約15分（南へ約1.2km）。
- くしろバス「十字街」「十字街7丁目」停留所下車、徒歩で約5分。
- 釧路空港から市内行きバスで約50分、「フィッシャーマンズフーフMOO」停留所下車、徒歩で約2分。

※来館者専用駐車場は、8台ございます。
満車の場合は、釧路錦町駐車場をご利用ください。
展示室での展覧会で観覧の方は利用料金1時間無料に、イベント等でご来館の方は2割引になります。駐車券を当館受付にご提示ください。

北海道立釧路芸術館

〒085-0017 釧路市幸町4-1-5
TEL.0154-23-2381
http://www.kushiro-artmu.jp



【指定管理者】 釧路芸術館共同事業体
【施設設置者】 北海道教育委員会（北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 代表TEL.011-231-4111）

